

令和6年度

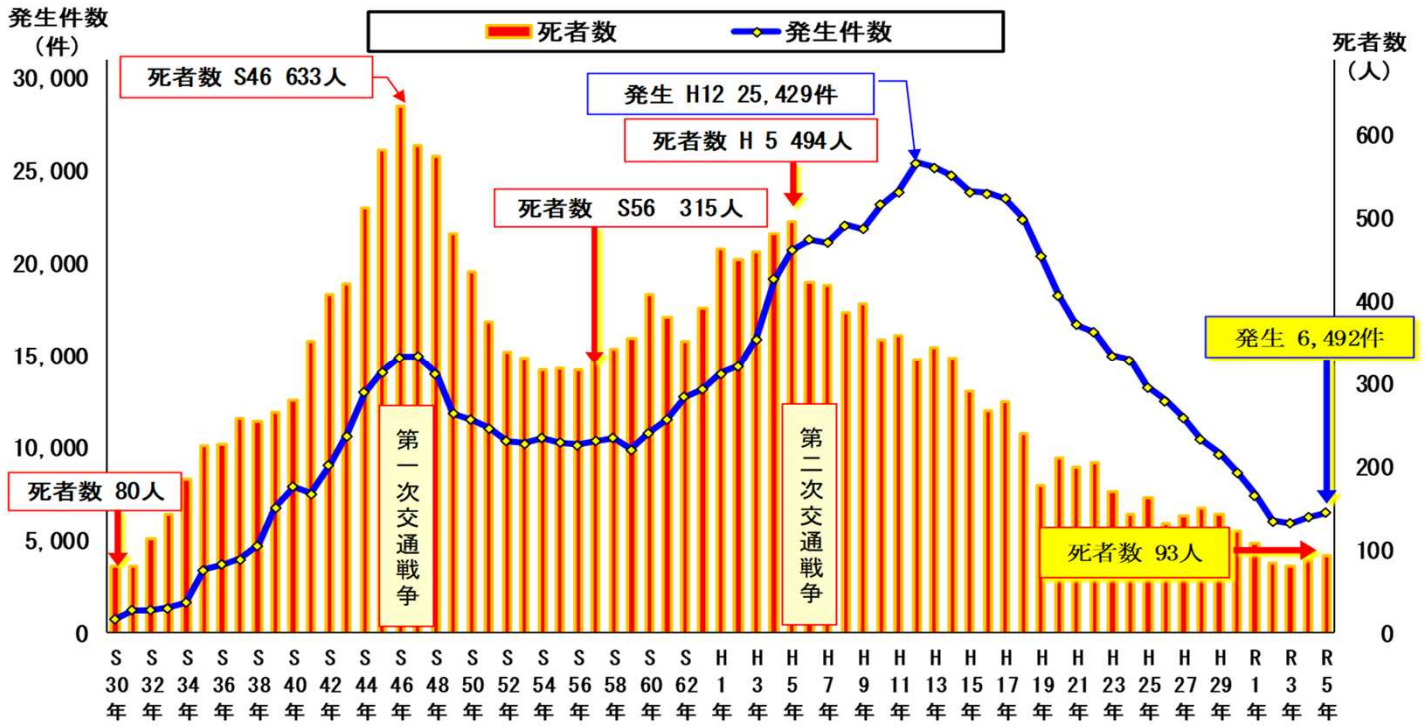
介護保険施設等管理者研修会
資 料

茨城県警察本部 交通総務課

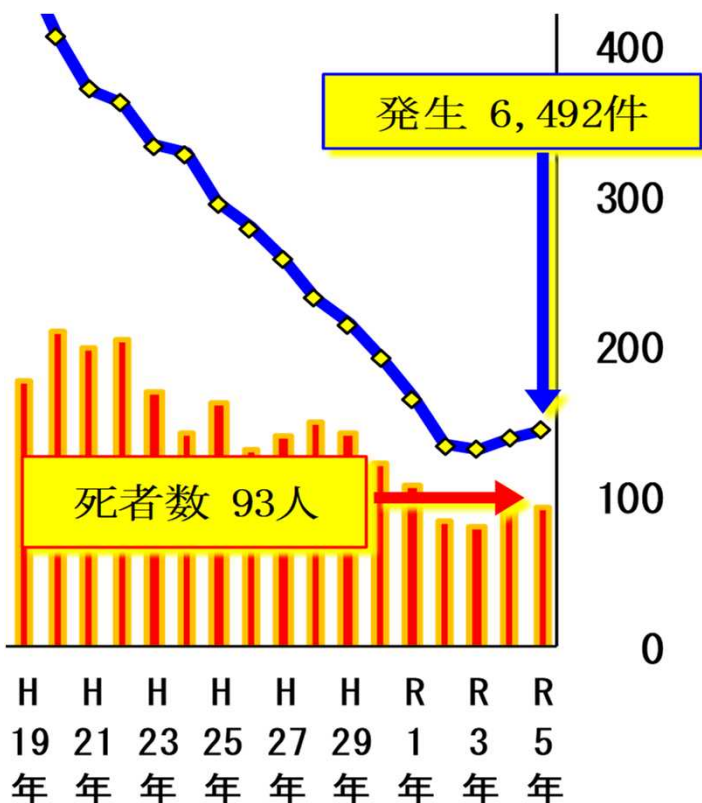
介護サービス事業者における交通事故の防止について

1 茨城県内の交通事故情勢について

(1) 県内の人身事故の年推移（昭和30年～令和5年）



(2) 令和5年中の交通事故発生状況



県内交通事故死者数 **93人**

全国順位はワースト **10位**

死者数、発生件数ともに

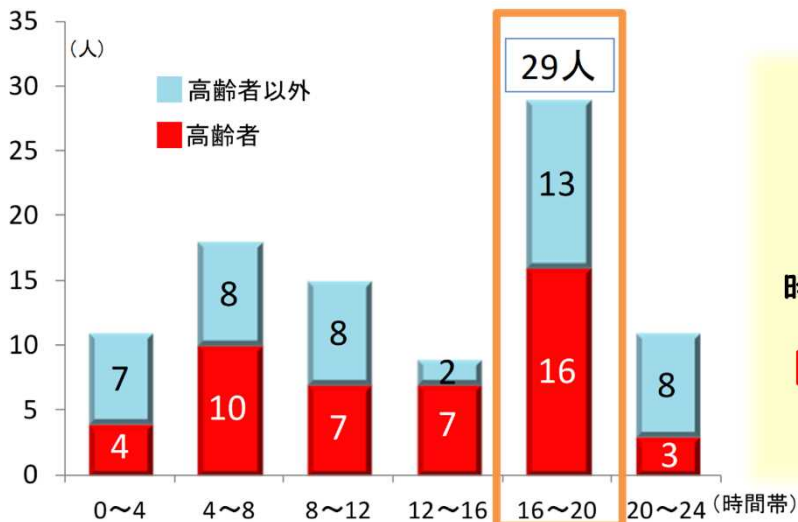
2年連続で増加

死者数93人のうち

高齢者47人 (50.5%)

※県内の人身事故の年推移の拡大図

時間帯別死者数

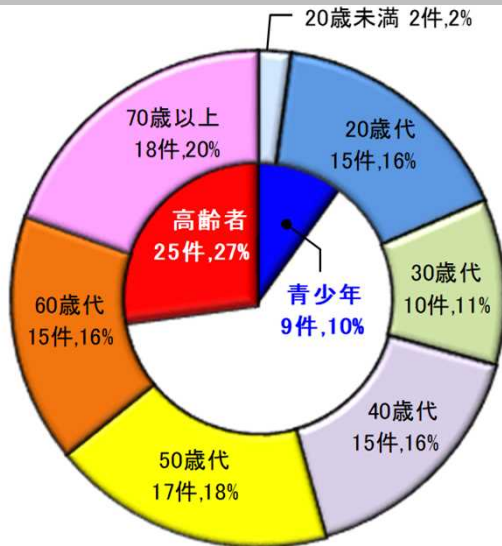


時間帯別では、

16~20時の時間帯が最多



第1当事者の年齢層別による交通死亡事故件数



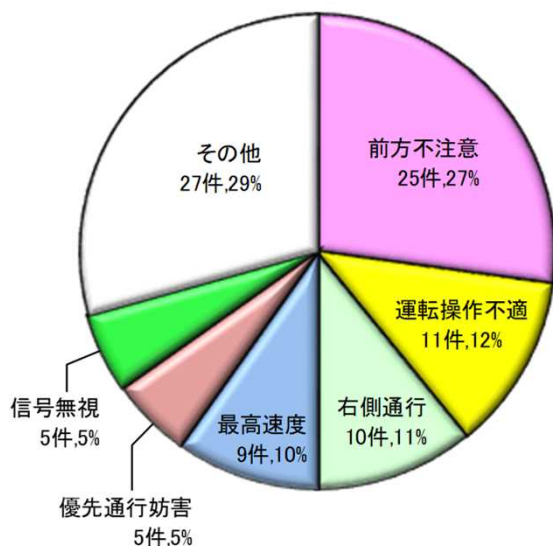
第1当事者年齢層別は、

高齢者が25件、

うち70歳以上が18件で最多



第1当事者の違反別による交通死亡事故件数



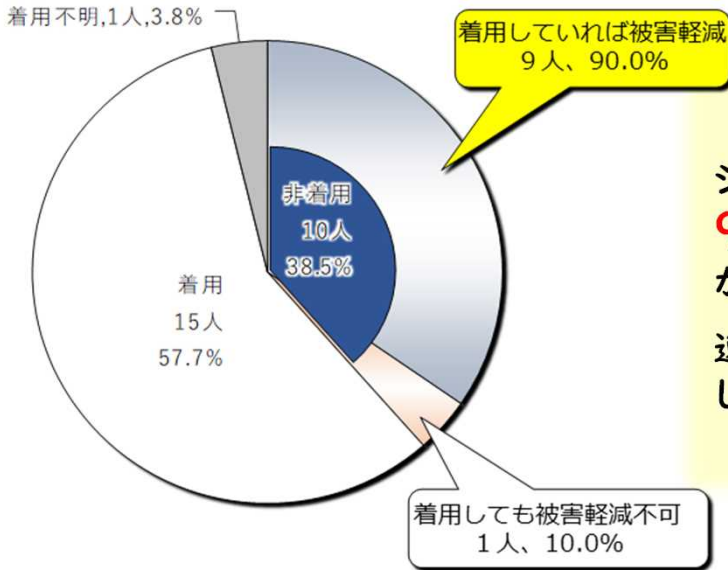
第1当事者の違反別では、

前方不注意が25件で最多、

次いで運転操作不適の11件



シートベルト着用別死者数



シートベルト非着用死者数の**9割**は、着用していれば助かった可能性があります。
速度を控えた運転を心がけましょう。

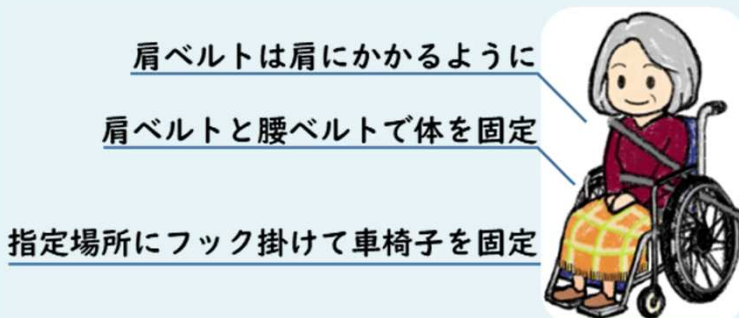


シートベルトは、交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減します。
また、正しい運転姿勢を保たせることにより疲労を軽減する効果もあります。



出発前に全員のシートベルトの着用状況を確認しましょう。

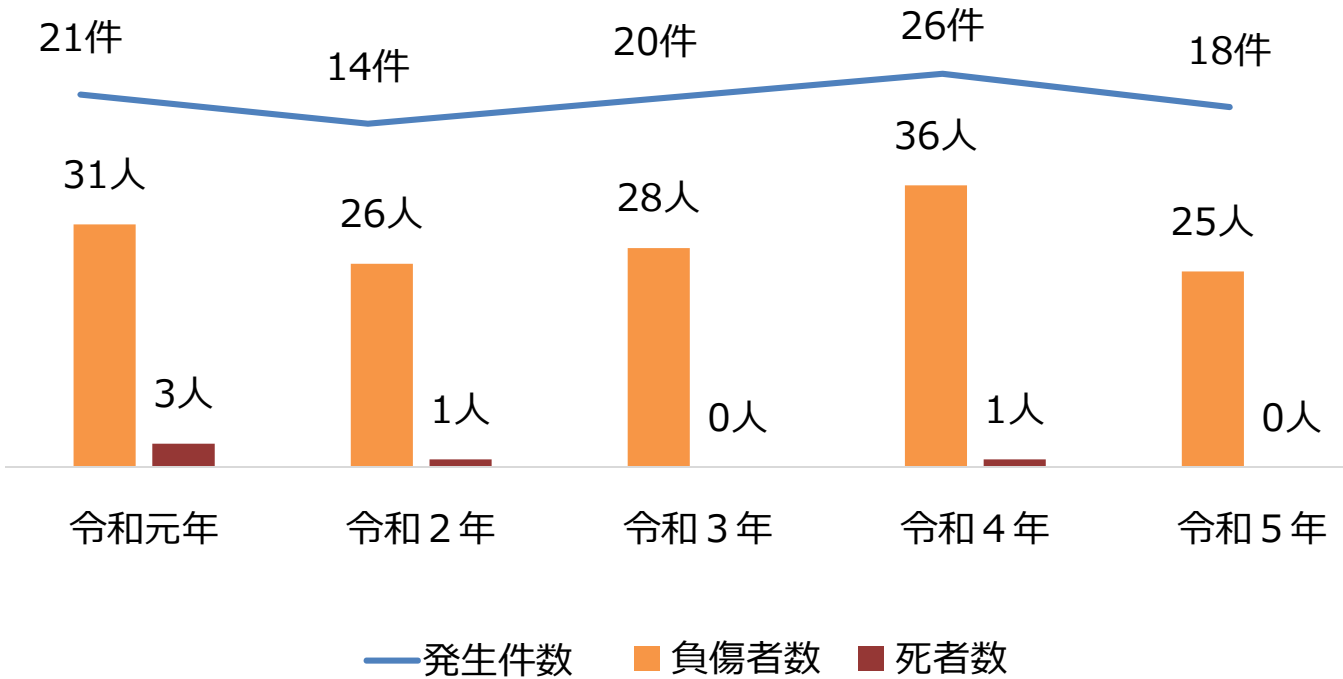
福祉車両で車椅子の利用者を送迎する場合、車椅子の固定方法やシートベルトの着用方法は、自動車や車椅子の種類により異なる場合があります。
取扱説明書等で正しい方法を確認してください。



2 県内の介護送迎業務中の交通事故発生状況

(1) 過去5年間の発生状況（令和元年～令和5年）

※介護目的の1当・2当による交通事故



(2) 本年の発生状況（令和6年7月末現在）



すでに4件の
死亡事故が発生・・・

死亡事故件数 4件
人身交通事故件数 11件
負傷者数 34人

そのうちの1件
詳しくは、こちら



事件名	普通乗用車が電柱等に衝突する事故						
現場見取り図							
発生日時	令和6年4月12日17時00分頃(金)	昼夜	昼	天候	晴		
発生場所	結城郡八千代町地内			路線名	県道 若境		
概要	普通乗用車が、直線道路を進行中、進路右側の電柱等に衝突したもの						
当事者	種別	乗車等	年齢	職業	性別	損傷	備考
	普通乗用	運転	69歳	運転手	男	軽傷	
		同乗	71歳	無職	女	重傷	
		同乗	92歳	無職	女	重傷	
		同乗	86歳	無職	女	重傷	
		同乗	23歳	介護士	女	軽傷	
		同乗	70歳	無職	女	重傷	
		同乗	92歳	無職	女	死亡	
同乗	89歳	無職	男	重傷			
物件	物件	-	電柱等	-	-		

疲れているとき、病気の時などは、注意力が散漫になったり、判断力が衰えたりするため、思いがけない事故を引き起こすことがあります。このようなときは運転を控えるか、体の調子を整えてから運転しましょう。



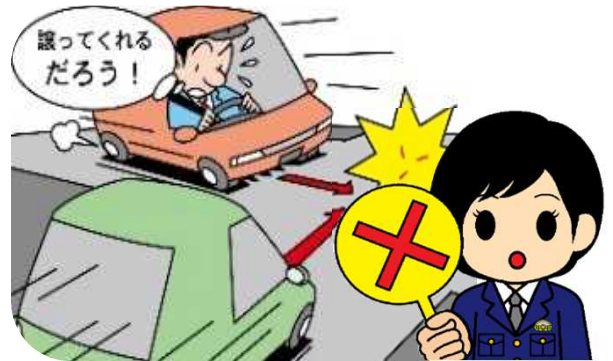
3 交通事故防止のポイント

(1) 危険を予測した運転

自動車を運転する際は、常に**危険を予測**した運転を心がけましょう。
駐車車両や障害物のかげにも危険があることを予測して、人が突然飛び出してきても、安全な措置がとれるような運転をしましょう。



あらかじめ予測しておくことで事故を未然に防止する
かもしれない運転



危険はないと自分に都合のいい予測をする
だろう運転

(2) 安全な車間距離

前の車が急に止まっても、追突しないような安全な速度と車間距離をとらなければなりません。

乗車人数が多いときや重い荷物を乗せているとき、雨にぬれた道路を走るときは、特に注意が必要です。



追突事故を回避できる車間距離の目安は、**3秒以上**の車間距離です。

標識などの適当な目印を決め、前の車がその目印を通過してから自分の車がその目印に至るまでの時間が3秒あれば、十分な車間距離を保っているということになります。

1

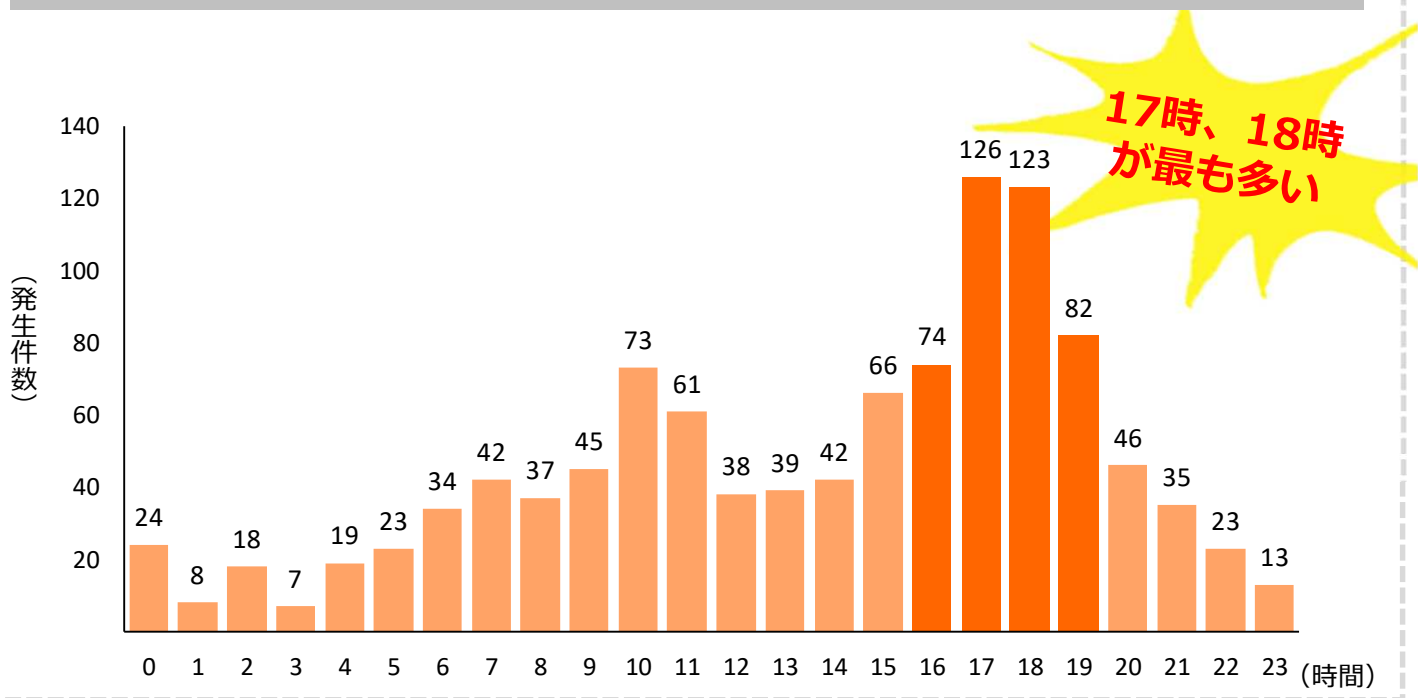


2



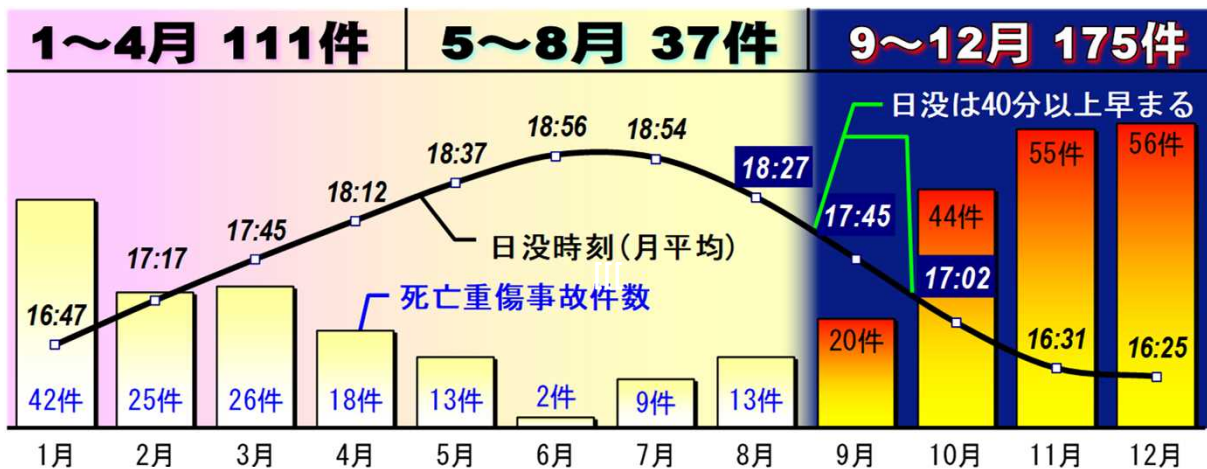
(3) ライトの早め点灯

時間帯別「人対車両」の死亡重傷事故件数 (令和元年～令和5年・過去5年間)



16～18時台の月別「人対車両」死亡重傷事故発生件数

(令和元年～令和5年・過去5年間)



16～18時台の歩行者の死亡重傷事故は、日没時刻が早まる9月以降に急増しています。

日没前後は交通事故が多発します。早めにライトを点灯し、自車の存在を知らせることが重要です。月別点灯目安時間を参考に早めにライトを点灯しましょう。

月別点灯目安時間

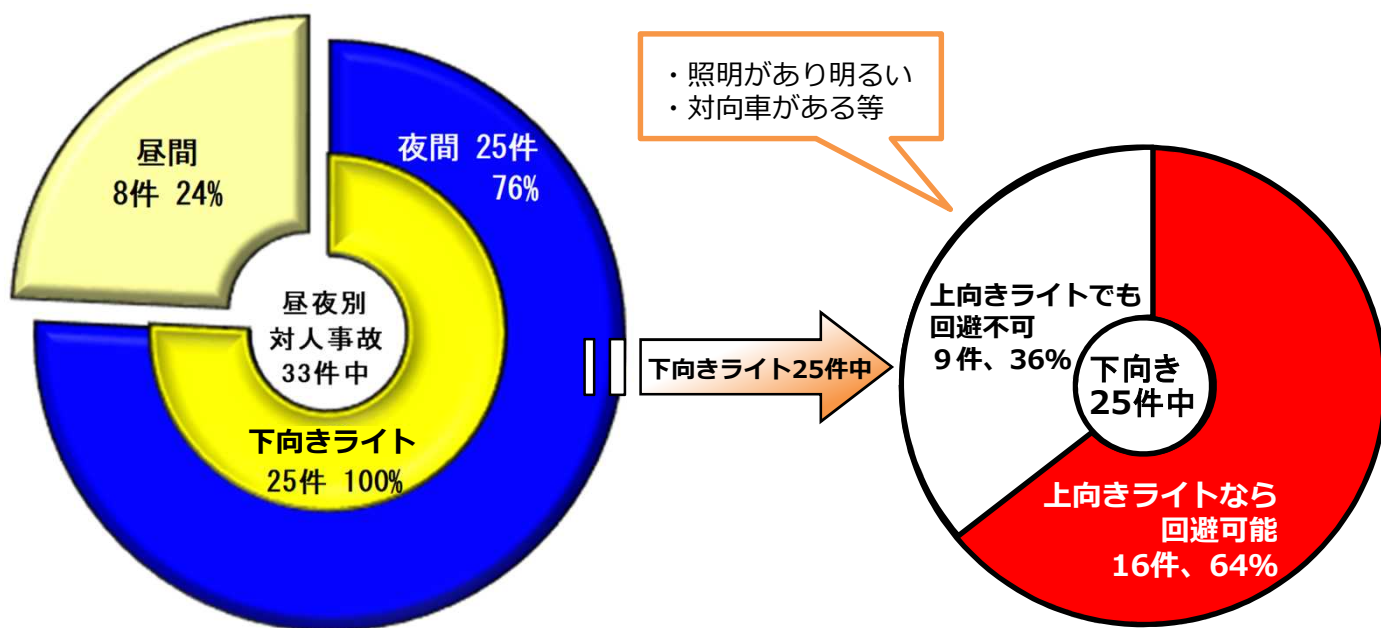
1月	16:00	7月	18:30
2月	16:30	8月	17:30
3月	17:00	9月	17:00
4月	17:30	10月	16:30
5月	18:00	11月	16:00
6月	18:30	12月	16:00

水戸の日没時間(国立天文台資料)を参考に、設定した時間



(4) ライトの切り替え

夜間における車のライトの上向き効果 (令和5年中)



上向きライト（走行用前照灯）で走行して、歩行者等の早期発見に努めましょう。先行車や対向車がいるときは、下向きライト（すれ違い用前照灯）に切り替えましょう。夜間は、昼間に比べて視界が悪くなるため、歩行者や自転車の発見が遅れがちになりますので、昼間より速度を落として慎重に運転しましょう。



(5) 発進する際の安全確認

車に乗る前は、車の前後に人がいないか、周囲に危険がないかを目視で確認しましょう。



後退する場合で同乗者がいない時は、ミラーだけに頼らず直接目視で確認しましょう。後方の見通しが良くない場合や狭い道路から広い道路に出るときは、同乗者がいる場合は後方の確認を手伝ってもらいましょう。

